

society&business Tokyo25 journal

# 25 journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

## 「旧統一教会と政治の癒着」で講演会 鈴木氏招き つながる八王子

JR八王子駅北口のクリエイトホール大ホールで6月18日、「旧統一教会と政治の癒着」をテーマに講演会があった。世界平和統一家庭連合(旧統一教会)をめぐる問題の取材を続けるジャーナリストの鈴木エイトさんが講師を務めた。定員200人のホールは開演30分前いっぱいとなり、ビデオ視聴できる第2会場が用意された。問題への関心の高さが伺えた。地元選出の立憲民主、共産、生活者ネットの多数の議員が駆け付けた。

鈴木さんは、2000年代に警察が霊感商法の摘発に乗り出したのを機に、旧統一教会が自民党の国会議員らとの関係を重視し、選挙などで協力してきたと説明。「メディアの監視が働かないところで、旧統一教会と政治家の関係が続いた。共存共栄の関係がエスカレートした」と指摘。教会を選挙に利用してきた政界を痛烈に批判した。

鈴木さんは「宗教団体と政治の問題ではなく宗教カルトと政治の問題だ」と思っている。反社会的な団体と政治家が付き合っただけなら、という問題だ。そういう反社会的な団体をどう規制して被害を防いで、被害にあっている人を救済するのが政治家の役割のほずなのに、教会と裏で取り引きを行って体制維持に寄与してきた政治家たちは追及を受けていない人も含めていっばいいる」とした。

また、政治へのチェック機能をメディアが果たさなければいけないとし、安倍総理襲撃事件以前の報道の在り方の甘さを強く指摘した。

主催は八王子の市民と立憲野党が「つながる八王子」。実行委員には八王子市長選に立候補した弁護士白神優理子さん、話題の市民運動家の菱山南帆子さんの顔があった。

「つながる八王子」では、旧統一教会とのつながりが強い自民党政調会長で、東京24区に立候補を予定する萩生田光一氏に対し、立憲野党の統一候補を擁立し、「犠牲の上に成り立つ政治を変えよう」と次の総選挙を見据えている。

ただ、中央では立憲民主と共産の選挙協力は2021年の総選挙のように進んでいない。一方、萩生田氏は現状では公明の推薦がなくなる見込みだ。

羽村市川崎の宗禅寺で6月10日、土曜講座が開かれ、元羽村市議の水野義裕さんが「私のやってきたこと」と題し、20年間の議員活動などを振り返り、市長と議会の関係や議員の実績とは何かなどについて話した。市議や元市議を含め20人ほどが熱心に耳を傾けた。

水野さんは岐阜県多治見市の出身。名古屋の大学を卒業して上京。コンピュータのソフトウェア会社に入社した。1979(昭和54)年に結婚。81年、妻の実家がある羽村市(当時は町)に引っ越した。2003(平成15年)、会社を退職。羽村市議に立候補し当選。5期20年勤め、今年4月、勇退した。水野さんの話は主要次の通り。

元市議を含め20人ほどが熱心に耳を傾けた。水野さんは岐阜県多治見市の出身。名古屋の大学を卒業して上京。コンピュータのソフトウェア会社に入社した。1979(昭和54)年に結婚。81年、妻の実家がある羽村市(当時は町)に引っ越した。2003(平成15年)、会社を退職。羽村市議に立候補し当選。5期20年勤め、今年4月、勇退した。水野さんの話は主要次の通り。

## 市民・議員・職員は、互いに「育てる・育てられる」関係 元羽村市議の水野義裕さん

元羽村市議の水野義裕さんが「私のやってきたこと」と題し、20年間の議員活動などを振り返り、市長と議会の関係や議員の実績とは何かなどについて話した。市議や元市議を含め20人ほどが熱心に耳を傾けた。

水野さんは岐阜県多治見市の出身。名古屋の大学を卒業して上京。コンピュータのソフトウェア会社に入社した。1979(昭和54)年に結婚。81年、妻の実家がある羽村市(当時は町)に引っ越した。2003(平成15年)、会社を退職。羽村市議に立候補し当選。5期20年勤め、今年4月、勇退した。水野さんの話は主要次の通り。

水野さんは、羽村市で15年間、球技大会や稲作体験、どんど焼きなどを通し、子どもたちや地域の大人と一緒に活動した。議長などを務めた秋山猛さんの選挙対策本部の手伝いを通して議員に興味を持った。PTA仲間との交流の中で、議員に興味があることを話すと、02年(平成14)年秋、立候補を打診され、決断。03年に市議に当選した。テーマとして、

「私のやってきたこと」と題し、水野さんが講演

で、教員の多忙化への対応、学期制、財政運営、羽村駅西口土地画整理事業などを取り上げた。市民の要望などは、担当に伝えながら、学校の2学期制を自分で役所に連絡するよう願った。それは役所と直接話すことで、役割が身近になるのを期待した。

市民・議員・職員は、互いに「育てる・育てられる」関係であると思う。上下関係でなく相互が対等に、「上手くやる」のではなく「わかるようにやる」ことが大切と強く感じた。

市長と議員はともに選挙で選ばれており、基本的には対等が大前提だが、実態は市長に予算提出の権限があり、力の差は大きい。与党、野党はないが、議案などの議決により態度を表明する。それぞれの議員の判断に任されるが、市長の指示には逆らえないという議員もいる。

議員の実績について、実現すると実績としてPRする議員がいる。基本的に議会は合議制なので、個人の実績として挙げるのはどうかと考える。

このほか、行政の仕事、市の条例・規則などについて分かりやすく解説した。参加者からは、文化協会への補助金が少なく、学校の2学期制を自分で役所に連絡するよう願った。それは役所と直接話すことで、役割が身近になるのを期待した。

水野さんは、羽村市で15年間、球技大会や稲作体験、どんど焼きなどを通し、子どもたちや地域の大人と一緒に活動した。議長などを務めた秋山猛さんの選挙対策本部の手伝いを通して議員に興味を持った。PTA仲間との交流の中で、議員に興味があることを話すと、02年(平成14)年秋、立候補を打診され、決断。03年に市議に当選した。テーマとして、

「私のやってきたこと」と題し、水野さんが講演

で、教員の多忙化への対応、学期制、財政運営、羽村駅西口土地画整理事業などを取り上げた。市民の要望などは、担当に伝えながら、学校の2学期制を自分で役所に連絡するよう願った。それは役所と直接話すことで、役割が身近になるのを期待した。

このほか、行政の仕事、市の条例・規則などについて分かりやすく解説した。参加者からは、文化協会への補助金が少なく、学校の2学期制を自分で役所に連絡するよう願った。それは役所と直接話すことで、役割が身近になるのを期待した。

水野さんは、羽村市で15年間、球技大会や稲作体験、どんど焼きなどを通し、子どもたちや地域の大人と一緒に活動した。議長などを務めた秋山猛さんの選挙対策本部の手伝いを通して議員に興味を持った。PTA仲間との交流の中で、議員に興味があることを話すと、02年(平成14)年秋、立候補を打診され、決断。03年に市議に当選した。テーマとして、

このほか、行政の仕事、市の条例・規則などについて分かりやすく解説した。参加者からは、文化協会への補助金が少なく、学校の2学期制を自分で役所に連絡するよう願った。それは役所と直接話すことで、役割が身近になるのを期待した。

水野さんは、羽村市で15年間、球技大会や稲作体験、どんど焼きなどを通し、子どもたちや地域の大人と一緒に活動した。議長などを務めた秋山猛さんの選挙対策本部の手伝いを通して議員に興味を持った。PTA仲間との交流の中で、議員に興味があることを話すと、02年(平成14)年秋、立候補を打診され、決断。03年に市議に当選した。テーマとして、

このほか、行政の仕事、市の条例・規則などについて分かりやすく解説した。参加者からは、文化協会への補助金が少なく、学校の2学期制を自分で役所に連絡するよう願った。それは役所と直接話すことで、役割が身近になるのを期待した。

水野さんは、羽村市で15年間、球技大会や稲作体験、どんど焼きなどを通し、子どもたちや地域の大人と一緒に活動した。議長などを務めた秋山猛さんの選挙対策本部の手伝いを通して議員に興味を持った。PTA仲間との交流の中で、議員に興味があることを話すと、02年(平成14)年秋、立候補を打診され、決断。03年に市議に当選した。テーマとして、

このほか、行政の仕事、市の条例・規則などについて分かりやすく解説した。参加者からは、文化協会への補助金が少なく、学校の2学期制を自分で役所に連絡するよう願った。それは役所と直接話すことで、役割が身近になるのを期待した。

水野さんは、羽村市で15年間、球技大会や稲作体験、どんど焼きなどを通し、子どもたちや地域の大人と一緒に活動した。議長などを務めた秋山猛さんの選挙対策本部の手伝いを通して議員に興味を持った。PTA仲間との交流の中で、議員に興味があることを話すと、02年(平成14)年秋、立候補を打診され、決断。03年に市議に当選した。テーマとして、

このほか、行政の仕事、市の条例・規則などについて分かりやすく解説した。参加者からは、文化協会への補助金が少なく、学校の2学期制を自分で役所に連絡するよう願った。それは役所と直接話すことで、役割が身近になるのを期待した。

水野さんは、羽村市で15年間、球技大会や稲作体験、どんど焼きなどを通し、子どもたちや地域の大人と一緒に活動した。議長などを務めた秋山猛さんの選挙対策本部の手伝いを通して議員に興味を持った。PTA仲間との交流の中で、議員に興味があることを話すと、02年(平成14)年秋、立候補を打診され、決断。03年に市議に当選した。テーマとして、

このほか、行政の仕事、市の条例・規則などについて分かりやすく解説した。参加者からは、文化協会への補助金が少なく、学校の2学期制を自分で役所に連絡するよう願った。それは役所と直接話すことで、役割が身近になるのを期待した。

## 如是我聞

宗禅寺土曜講座聴聞記⑪



「私のやってきたこと」と題し、水野さんが講演

で、教員の多忙化への対応、学期制、財政運営、羽村駅西口土地画整理事業などを取り上げた。市民の要望などは、担当に伝えながら、学校の2学期制を自分で役所に連絡するよう願った。それは役所と直接話すことで、役割が身近になるのを期待した。

このほか、行政の仕事、市の条例・規則などについて分かりやすく解説した。参加者からは、文化協会への補助金が少なく、学校の2学期制を自分で役所に連絡するよう願った。それは役所と直接話すことで、役割が身近になるのを期待した。

※「如是我聞」では土曜講座を連載でレポートします。

臨済宗建長寺派 宗禅寺 羽村市川崎2丁目8-20 ☎042-554-1276

寺は文化の発信地 創ろう地域の文化を人から歴史から

第80回土曜講座(お茶代300円) 7月15日13時~15時

7月は盂蘭盆供養のお施餓鬼法要に併せて開催致します。

【盂蘭盆供養 山門施餓鬼会】

○ 7月15日(土) 12:30受付開始

13:00 鎌倉流御詠歌の奉詠、

13:15 講話「呼吸を学ぶ」ZEN呼吸 椎名由紀さん

14:00 山門施餓鬼法要

臨済宗建長寺派 宗禅寺 羽村市川崎2丁目8-20 ☎042-554-1276

寺は文化の発信地 創ろう地域の文化を人から歴史から

そうぜんじ便り—文月

第80回土曜講座(お茶代300円) 7月15日13時~15時

7月は盂蘭盆供養のお施餓鬼法要に併せて開催致します。

【盂蘭盆供養 山門施餓鬼会】

○ 7月15日(土) 12:30受付開始

13:00 鎌倉流御詠歌の奉詠、

13:15 講話「呼吸を学ぶ」ZEN呼吸 椎名由紀さん

14:00 山門施餓鬼法要

臨済宗建長寺派 宗禅寺 羽村市川崎2丁目8-20 ☎042-554-1276

寺は文化の発信地 創ろう地域の文化を人から歴史から